

課題領域	(1) 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	(2) 明日の藤沢を担う「藤沢」の子どもたちを育む環境	(3) 市民力・地域力による安心で安心して暮らせるまち	(4) 共に生き、共に創る地域社会の創出	(5) 豊かな地域資源の次世代への継承・発展	(6) 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資	(7) 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生	(8) 公共資産の維持管理と有効活用	(9) 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出
(A) 市民生活の安定(安定・落ち着き・安らぎ)	1 身近な地域での暮らしやすさが実現していること 2 市民が自慢できるまちであること	8 市民自ら、人によりやし手をとるのべること 9 子どもを安心して育てられる環境があること	17 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと 18 災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること	24 移住や暮らかけによる市民同士のコミュニティが育まれていること 25 生活環境を守るために地域でまとまりがあること	36 誰もが快適に暮らせる、居心地のいいまちであること	46 生活の便利さと環境保全の両方が実現していること 47 みんなが協力し、いつまでもまちがきれいであること	66 身近に親しみや愛着をもてる景観があること	67 移動や利用に合わせた自然を守り、育てられていること	73 活気があり、開放的で温かいまちであること 74 いつも自然の豊かさを感じられていること
(B) 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	3 市民自らが藤沢を良くする活動に積極的であること	10 子どもが、住んでいる地域に誇りを持ち、地域で暮らし続けていくこと	19 治安の良い環境であること	26 子育て世代を支える環境が充実していること	37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること	48 豊かな緑に囲まれた生活が実現していること	68 日常生活に安らぎや豊かさを与えてくれる場所があること	75 豊かな地域資源を宝に、楽しい体験ができるまちであること	
(C) 持続的活動(伝える・維持する)	4 藤沢市で活用できる様々な資源を有効活用していること	11 地域の歴史文化を教育活動に活用すること	20 安全・安心を高める活動が盛んであり、ポテンシャルが高いこと	27 お互いの個性が尊重されていること	38 イベントや物産品などの地域ブランドが定着していること	59 安全で安心な食べ物が身近で得られること	69 市民が利用する身近な施設が大切にされていること	76 豊かに暮らす地域に、楽しい体験ができること	
(D) 創造・推進活動(発展・チャレンジ)	5 協働で協働して、暮らしや取り組みが育まれていること	12 地域協働で、教育や人材育成に熱心であること	21 市民が協力し、思いやりのあるまちであること	29 いろいろな世代、いろいろな国の人たちと交流できること	41 期前のとれと暮らすことが進められていること	60 産業の活力を高め、地域が元気になること	70 様々な主体によつて、身近な公共の場が維持管理されていること	79 市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること	
(E) 交流基盤(交流・つながり・連携)	6 誰でも気軽に市内の情報を発信したり、得ることができること	13 地域が子どもを里守り育てる環境であること	22 様々な世代が、快適に住みやすいまちであること	30 お互いにマナーを守り、協力して地域のために活動していること	42 市民同士が協力し合いながら暮らしていること	62 周辺自治体や他地域と共生し、活気あるまちになること	71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること	80 市民と求職者が交流できる機会や場があること	
(F) 市民生活の基盤(学・育む・人材育成・仕組みづくり)	7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	14 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること	23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること	32 人々が交流して、平和で多くの未来があること	43 子供が大人になっても愛着の持てるまちであること	64 商店街と大型店舗が共存すること	81 地域の記憶や文化が継承され、発展すること	82 藤沢ならではの取り組みが実践されていること	
	8 お互いが助け合い、暮らしやすさを保ちながら暮らしていること	15 子どもたちが積極的に関与できる環境を整備すること	24 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること	33 地域の中で学びあう雰囲気があること	44 河川や海岸が市民に開かれていること	65 市内の交通・物流がスムーズに行われること	72 いろいろな市民の学びの場が充実していること	83 子どもから大人まで、文化に触れる環境が整っていること	

- ① 協働型の課題解決で進捗向上へ
- ② 強みや魅力の維持・向上を
- ③ より効率的に価値の創出を
- ④ 熱意と根拠ある未来戦略を

表 15 ふじさわ未来課題マトリックス (遠藤地区)